

2015年8月27日

三重県知事 鈴木英敬様

日本共産党三重県委員会
委員長 大嶽隆司
日本共産党県議団
県議 岡野恵美
県議 山本里香
日本共産党亀山市議団
市議 服部孝規
市議 福沢美由紀

シャープの人員整理と補助金等についての申し入れ

シャープ(株)は、相次ぐ経営難の中で、人件費削減のため全社で3,234人の希望退職者を募り、9月30日に退社すると発表しています(中日新聞8月22日付)。

三重県と亀山市は、シャープ亀山工場の誘致を、当時の北川正恭県知事とシャープ社長とのトップセールスで、県が90億円、亀山市が45億円もの県民の貴重な税金を補助金として出す約束をし、全国に鳴り物入りで宣伝されてきました。しかし、その後の経過は、雇用効果1万2千人と言われてきましたが全く実現されておらず、また不安定雇用の派遣やパート労働者、さらには外国人労働者で多く占められています。その上、第一工場の中国への売却がすすめられ、県税収入も大きく落ち込んでいる始末です。

今回の人員整理で、地元はさらに大変深刻な状況に陥っています。そこで、次の点について申し入れ、必要な改善を要求するものです。各項目についてのご回答を速やかにしていただくようお願いします。

記

1、今回のシャープ(株)の希望退職の詳細な実態を、本社より直接聞きとりし、県民に速やかに公表してください。人員削減にあった労働者数、年齢、再雇用の状況、その場合の給与など、亀山工場(亀山市)、三重工場(多気町)別に明らかにしてください。

2、人員整理された労働者の再就職先のあっ旋や再雇用される労働者の実態—不当に安い賃金で雇用されないよう—を三重労働局と連携し、本人らの希望も調査しながら、シャープへの申し入れを県がおこなって、生活への不安を解消するよう徹底してください。

3、三重県は、シャープ(株)に当初予定していた90億円の補助金をまだ一部交付していません。現在の補助金の交付額とその残額を明確にして、これ以上の補助金は交付しないように

してください。さらに、これまで交付した補助金の返還を求めてください。亀山市は、すでに奨励金という名の補助金を45億円も支払っています。これについても返還を求めてください。

4、シャープ(株)におこなったような大企業の補助金については、当初の計画と大幅に異なった場合、補助金の返還を求めるだけでなく、県民の税金を無駄にした責任を誰がどのようにするのか明らかにしてください。これに関連して、補助金を受け取っている東芝についても、「粉飾決算」とも言える利益の水増しというコンプライアンス違反についても補助金の返還を求めるべきだと考えますが、どうですか。

以上のような点を明確にして、今後のルールづくりを強く求めるものです。

以上